

令和6年度 中小企業景況調査 付加調査

「環境配慮」に関する調査

[調査期間 令和7年2月17日～3月4日]

はじめに

- 山梨県商工会連合会では、県内商工会地域の中小・小規模事業者を対象に、「環境配慮」に関する調査を実施した。
(調査期間 令和7年2月17日～3月4日)
- 本調査は、全国商工会連合会より依頼を受け、年4回実施している「中小企業景況調査」の付加調査として毎回テーマを変え実施している。
- 調査対象事業者数は165社であり、その業種別内訳は
製造業37社 建設業25社 小売業50社 サービス業53社である。
今回の調査票回収件数は165社（回収率100%）。
- 調査により商工会地域の中小・小規模事業者の環境配慮への対応状況が明らかになった。

調査項目一覧

○「環境配慮」に関する調査について

(1). 現在実施している環境配慮への対応について、下記より選択してください(複数選択可)

①廃棄物削減(例: リサイクル、廃棄物分別)	②省エネルギー (例: LED 照明、エネルギー管理システム)
③再生可能エネルギーの活用 (例: ソーラーパネル設置)	④環境に配慮した製品開発 (例: エコ素材の使用)
⑤環境マネジメントシステムの導入 (ISO14001 認証)	⑥特に取り組んでいない
⑦その他()	

(2). 上記(1). に取り組むこととなったきっかけについて下記より選択してください(複数選択可)

①自発的に方針を立てた	②国や自治体のルールへの対応	③顧客や取引先からの要請
④コスト削減効果への期待	⑤ブランド価値の向上への期待	⑥特に取り組んでいない
⑦その他()		

(3). 上記(1). に取り組んだ結果、その成果や効果をどのように感じていますか？(複数選択可)

①コスト削減に繋がった	②ブランドイメージが向上した
③顧客満足度が向上した	④業務の効率化に繋がった
⑤従業員満足度が向上した	⑥成果や効果を感じていない/特に取り組んでいない
⑦その他()	

(4). 上記(1). に取り組むにあたって直面した課題について下記より選択してください(複数選択可)

①初期投資コスト	②運用・維持コスト	③仕入先・取引先の協力が得られない
④社内の理解・協力の不足	⑤専門知識や技術の不足	⑥効果が不透明・成果が見えにくい
⑦業務への影響・負担	⑧法規制等の制約	⑨特に取り組んでいない
⑩その他()		

裏面へ

(5). 今後に向けた環境配慮への関心度を下記より一つ選択してください

①すでに取組んでおり、今後も継続・追加する	②すでに取組んでいるが、今後は継続しない
③近いうちに取組みを開始する予定がある	④具体的な計画はないが、関心はある
⑤取組みたいが、実現が難しい	⑥特に関心がない

(6). どのような支援があれば取組みを進めやすいかについて下記より選択してください(複数選択可)

①チェックリストやガイドラインの提供	②成功事例や他社の取り組みの情報提供
③低コストで導入できる具体策の紹介	④専門家のアドバイスや相談窓口の設置
⑤補助金や助成金の活用支援	⑥取引先や顧客からの要請および支援
⑦その他()	

(7). 環境配慮に関する情報源について下記より選択してください(複数選択可)

①行政機関	②業界団体	③インターネット・SNS
④専門書やセミナー	⑤他企業の事例	⑥その他()

(8). 環境配慮に関するご意見について自由に記載してください。

自由記載欄

「環境配慮」に関する調査の概要

- 環境配慮への対応について、81.8%は何らかの取り組みを行っている（「特に取り組んでいない」という回答は 30者/165者）と言える。
「省エネルギー」という対応が最多。次いで「廃棄物削減」であった。
- 取り組むこととなったきっかけについては「コスト削減効果への期待」が最多であり、社会背景や機運よりも、まずもって事業経営における経費削減、すなわち利益確保を目的としていることがうかがえる。
- 取り組みの成果や効果については81%は何らかの成果や効果を感じている（「特に取り組んでいない」という回答 30者を除外して計算）。

「環境配慮」に関する調査の概要

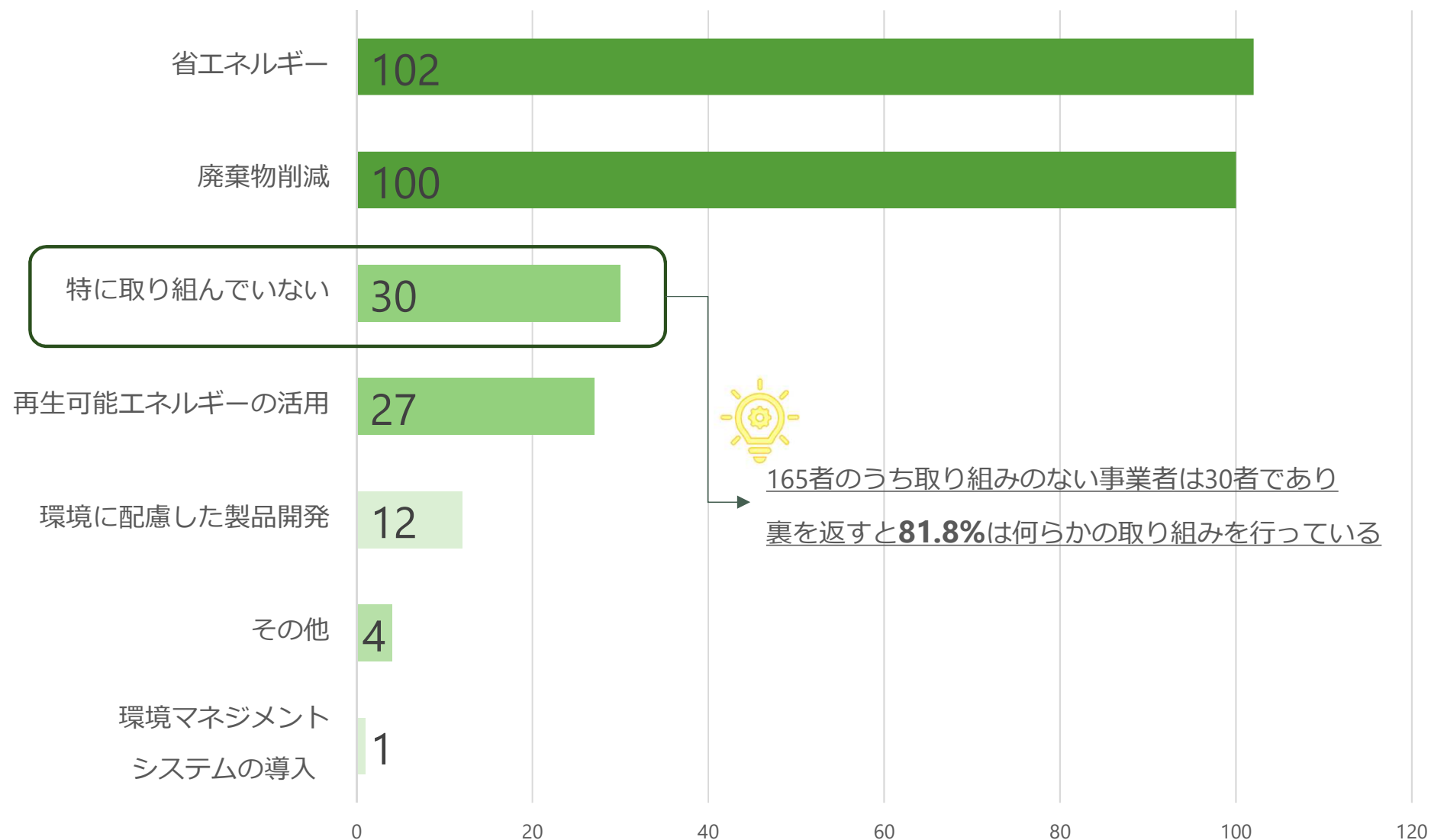
■「どのような支援があれば取り組みやすいか」という設問については「補助金や助成金の活用支援」「低コストで導入できる具体策の紹介」が大半を占め、ここでも「カネ」に課題を感じ、また解決策を望んでいることがうかがえる。

■上記を背景に「**県の省エネ補助金**」を活用した省エネルギー対応のニーズはこれからも続伸すると考えられる。

一方で、「**省エネルギー等に取り組んで経費削減をしたが電力の値上がりがそれを上回っている**」という回答もあり、昨今の物価高やエネルギー価格高騰が事業者の自助努力でコントロールできる範疇を超えており、事業環境の悪化が読み取れる。

現在実施している環境配慮への対応について（複数選択可）

質問 1

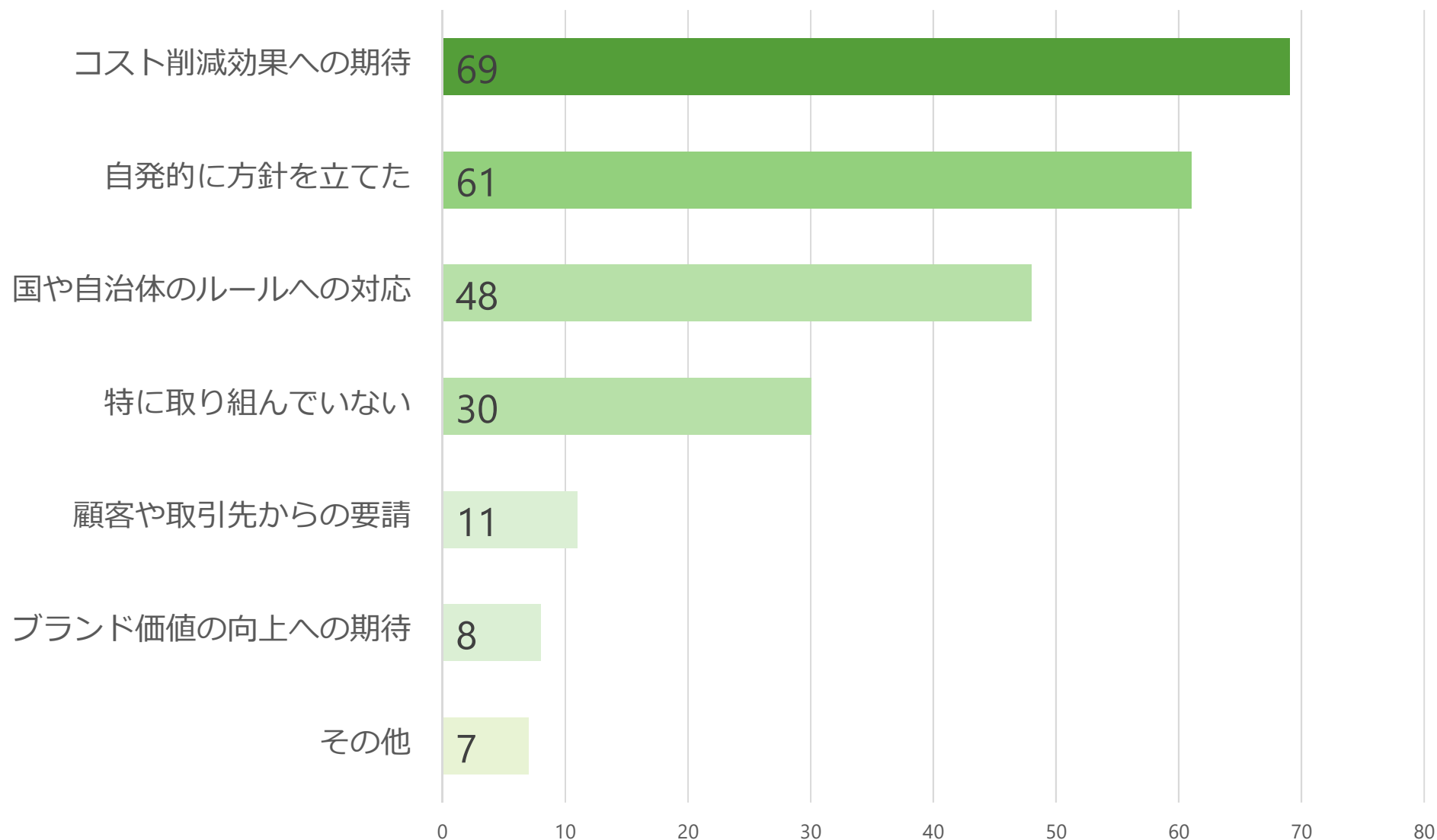


「その他」の構成

- ▶ 印刷用紙の削減 いらない用紙をメモ用に
- ▶ ノーレジ袋運動
- ▶ アイドリングストップ 過積載禁止 運行ルート効率化
- ▶ 砕石を使用した地盤改良工事 環境に配慮した庭造り
自然素材の木ウ酸を使用した防蟻・防腐対策工事

環境配慮対応に取り組むこととなったきっかけ（複数選択可）

質問 2

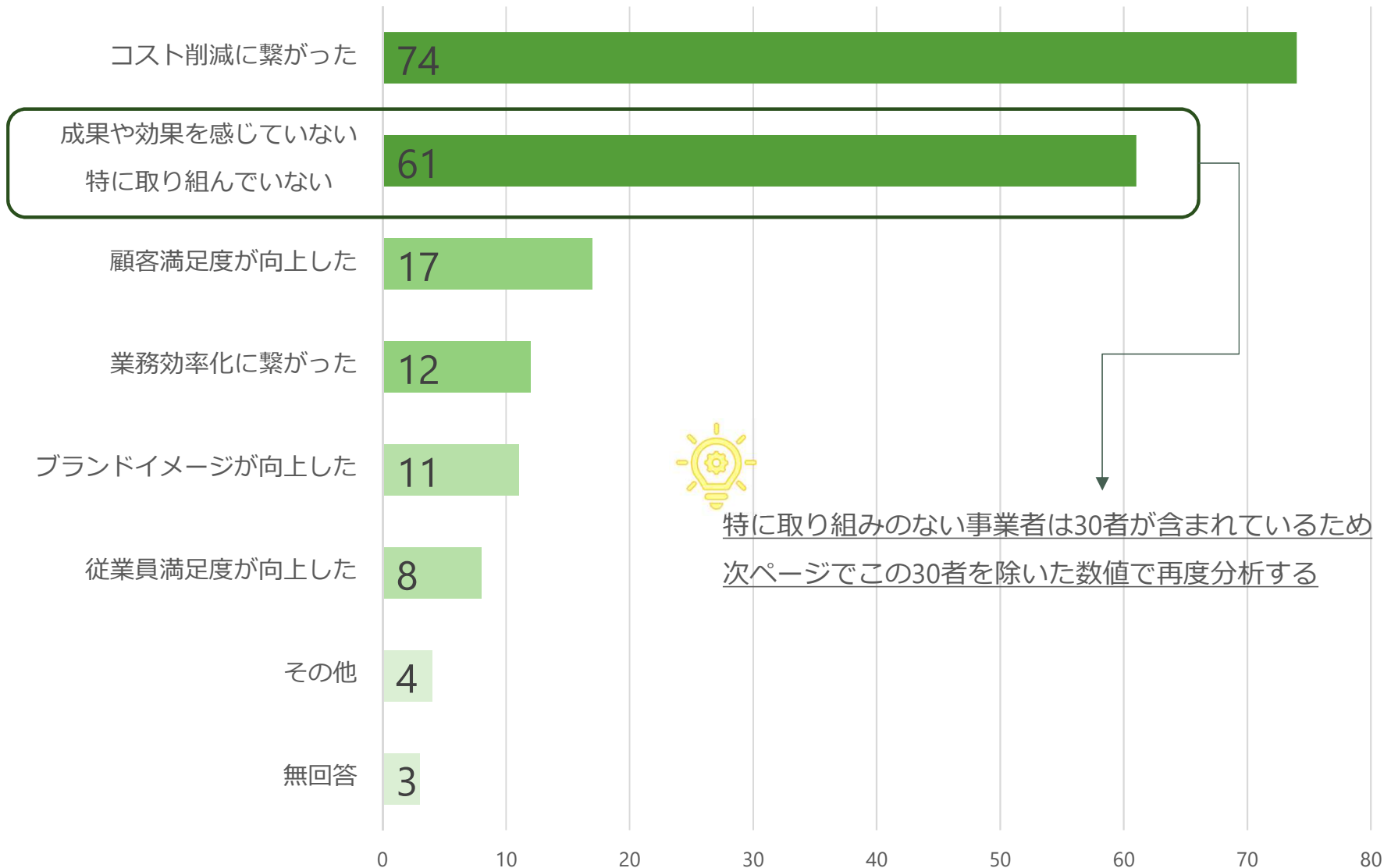


「その他」の構成

- ▶ 県の省エネ補助金
- ▶ 蛍光灯廃止のため
- ▶ 店の改装のため
- ▶ 社名変更に伴い
- ▶ 環境への配慮
- ▶ 勧誘
- ▶ 特になし

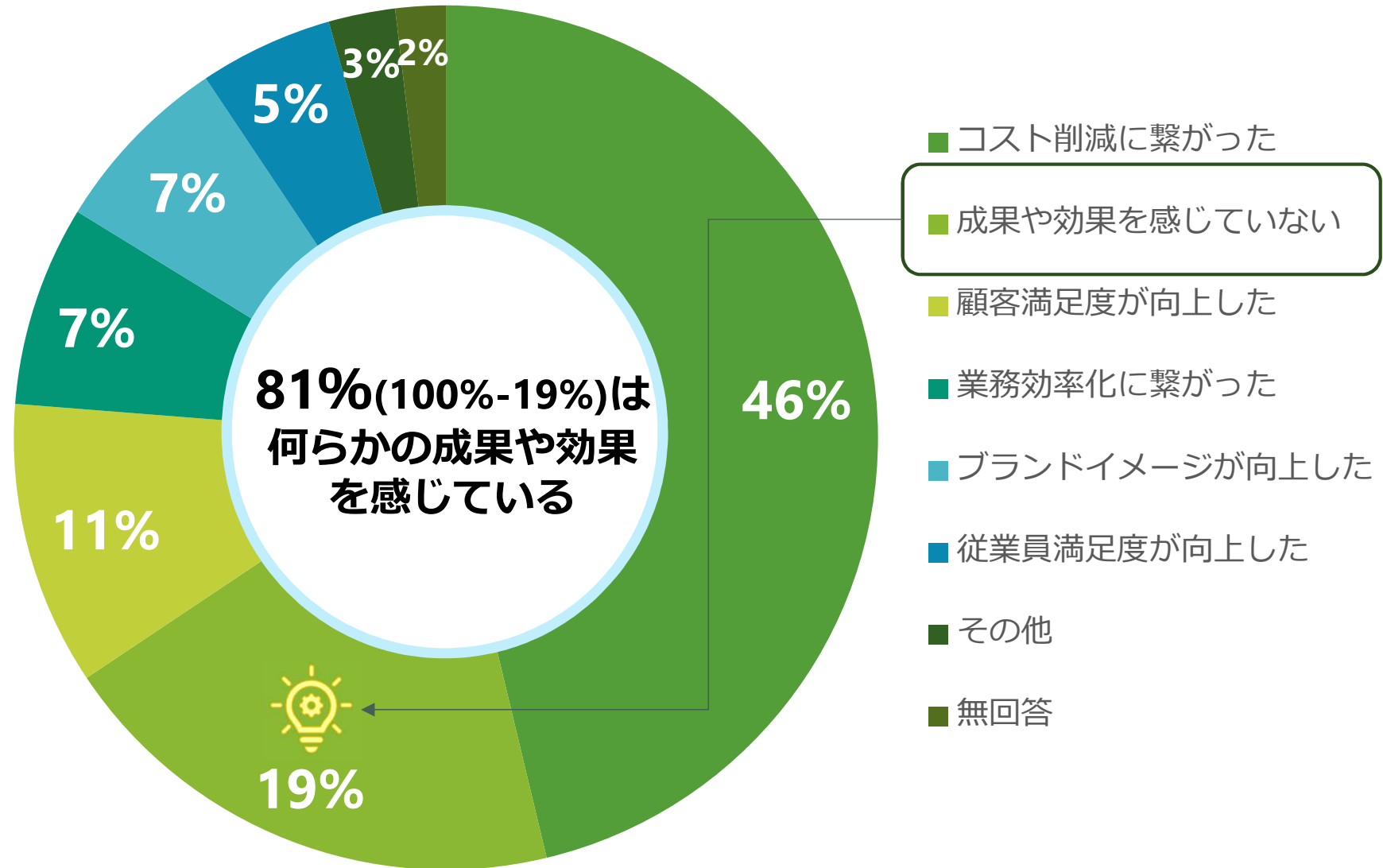
取り組んだ結果の成果や効果をどのように感じているか（複数選択可）

質問 3



取り組んだ結果の成果や効果をどのように感じているか（複数選択可）

質問 3

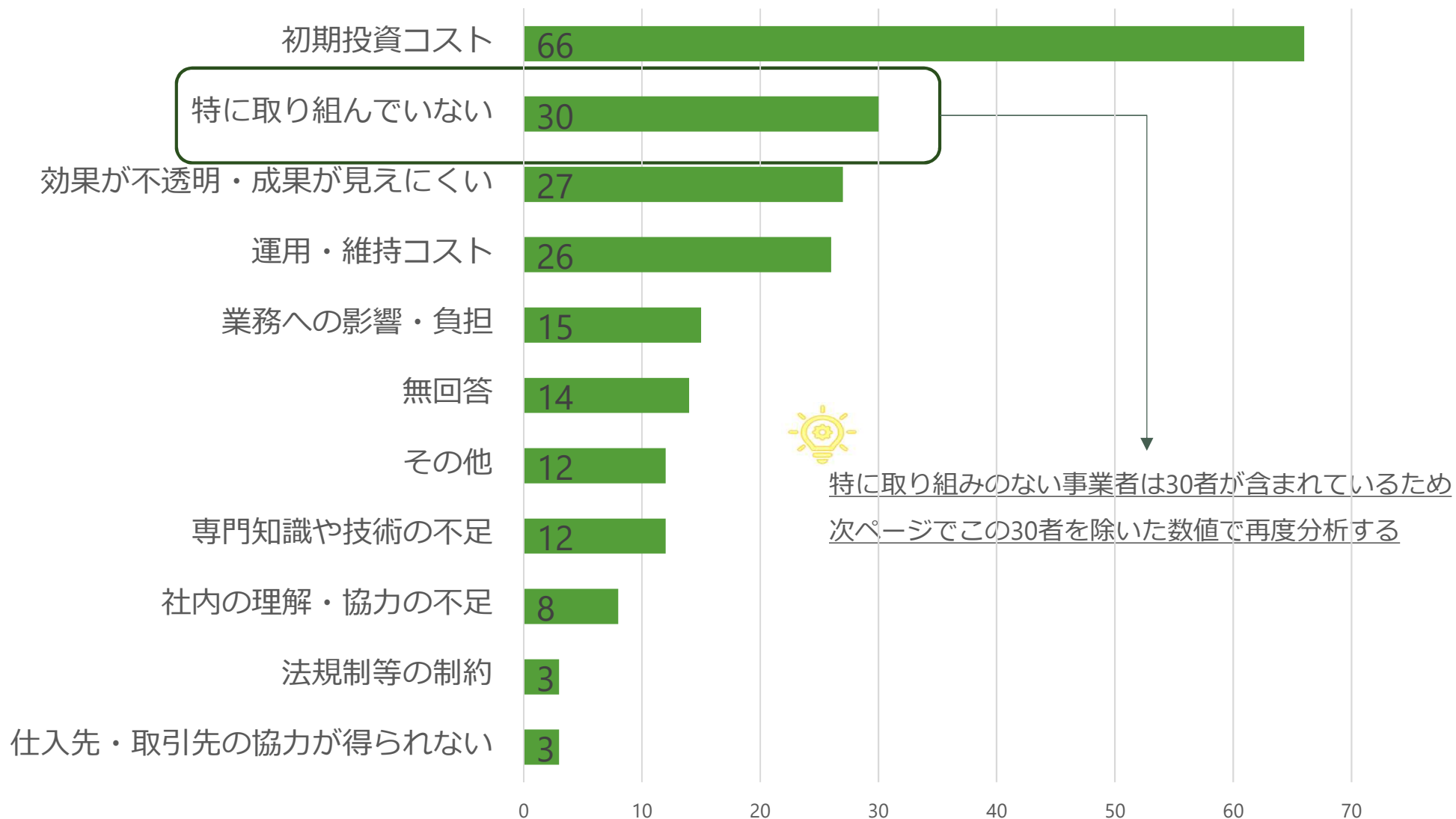


「その他」の構成

- ▶ 省エネルギー等に取り組んで経費削減をしたが電力の値上がりがそれを上回っている
- ▶ リサイクルなどは分別に時間やコストが掛かる
- ▶ 目に見える効果はないができることから取り組んでいる
- ▶ 環境への意識が高まった

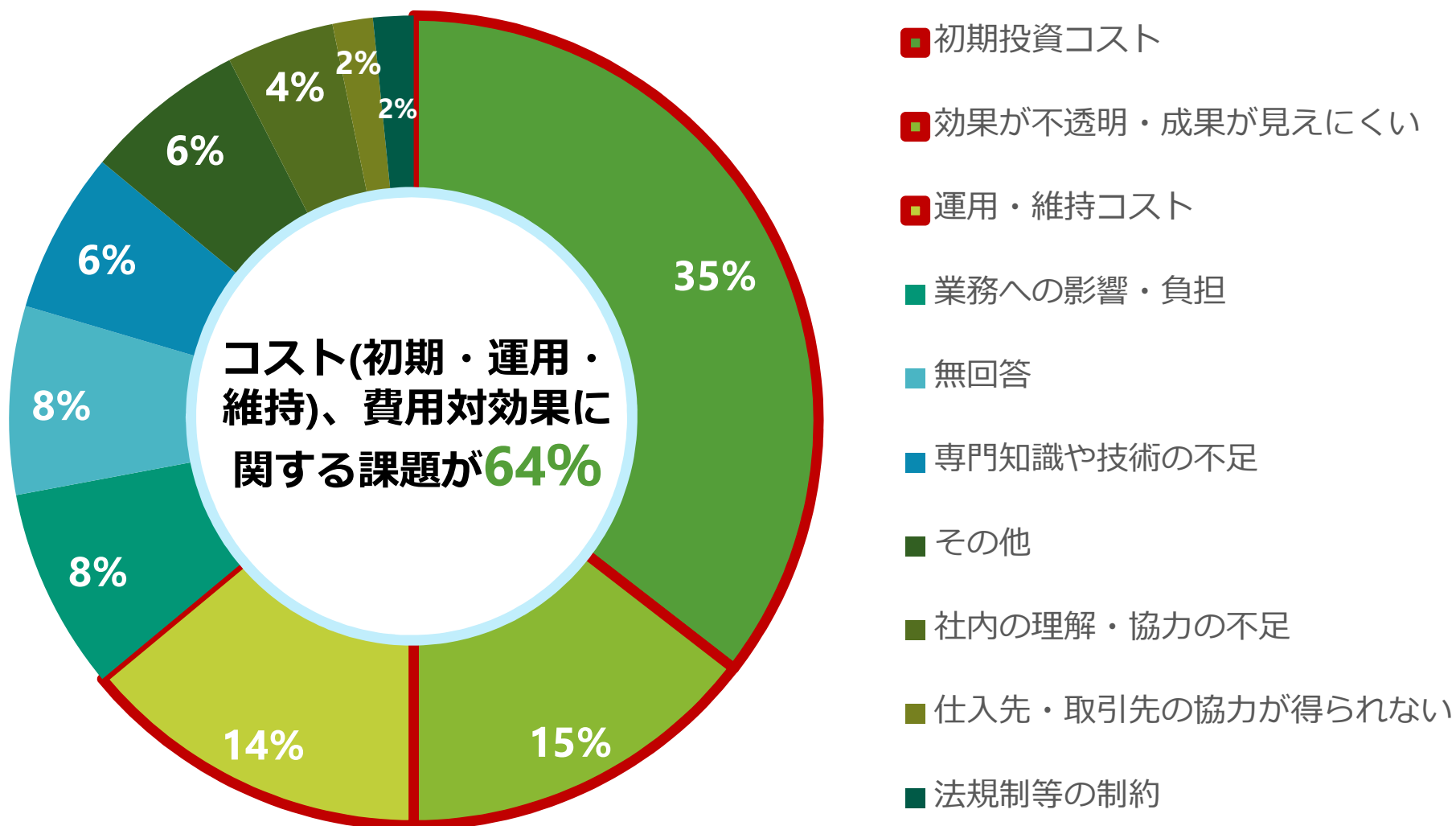
取り組むにあたって直面した課題について（複数選択可）

質問 4



取り組むにあたって直面した課題について（複数選択可）

質問 4

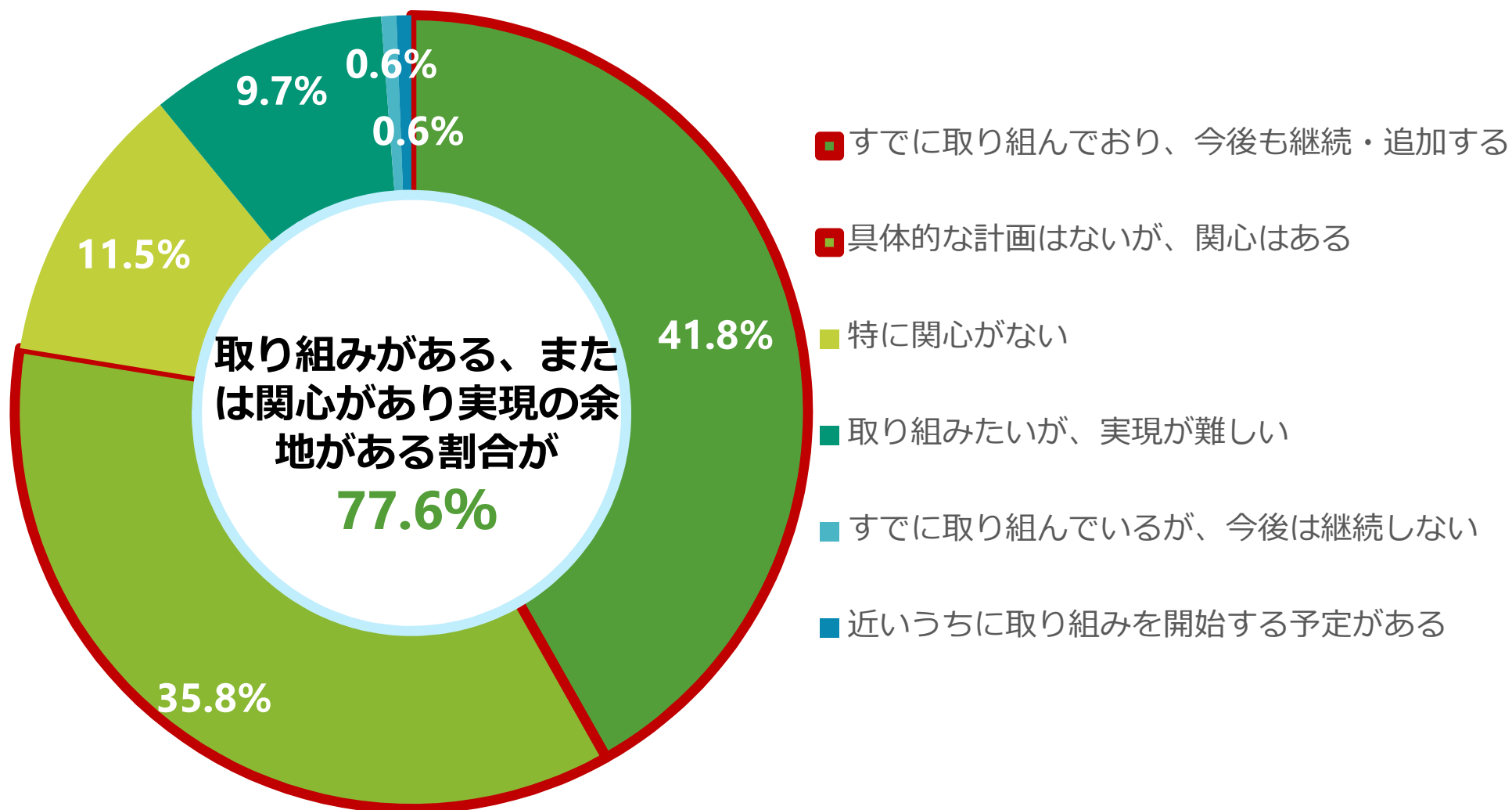


「その他」の構成

- ▶ 「特にない」という回答が 9 件
- ▶ ソーラーパネルを検討したがコスト面で取りやめた
- ▶ リサイクル品の活用なので特に問題なし
- ▶ 運用面での問題あり。管理など

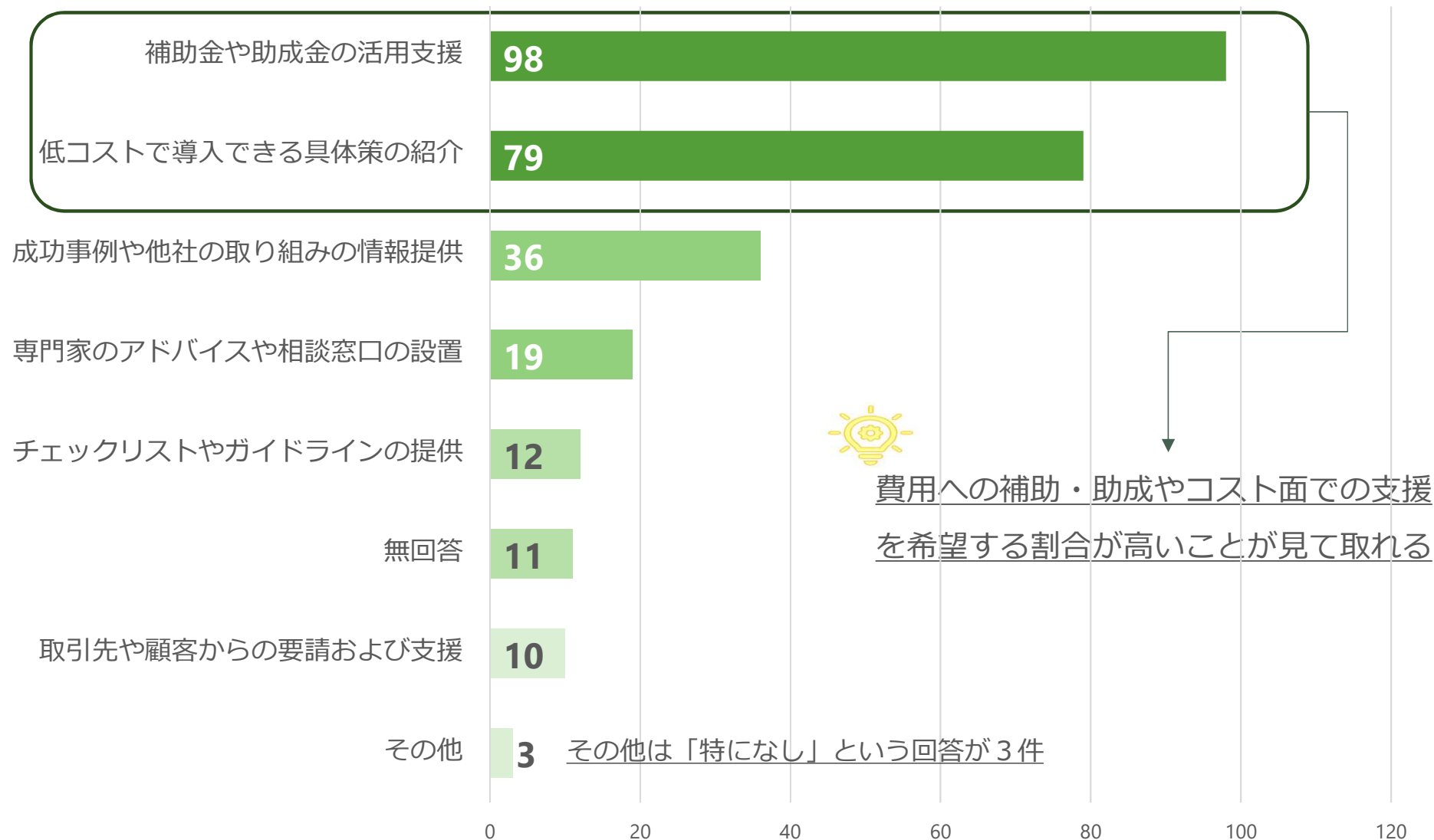
今後に向けた環境配慮への関心度

質問 5



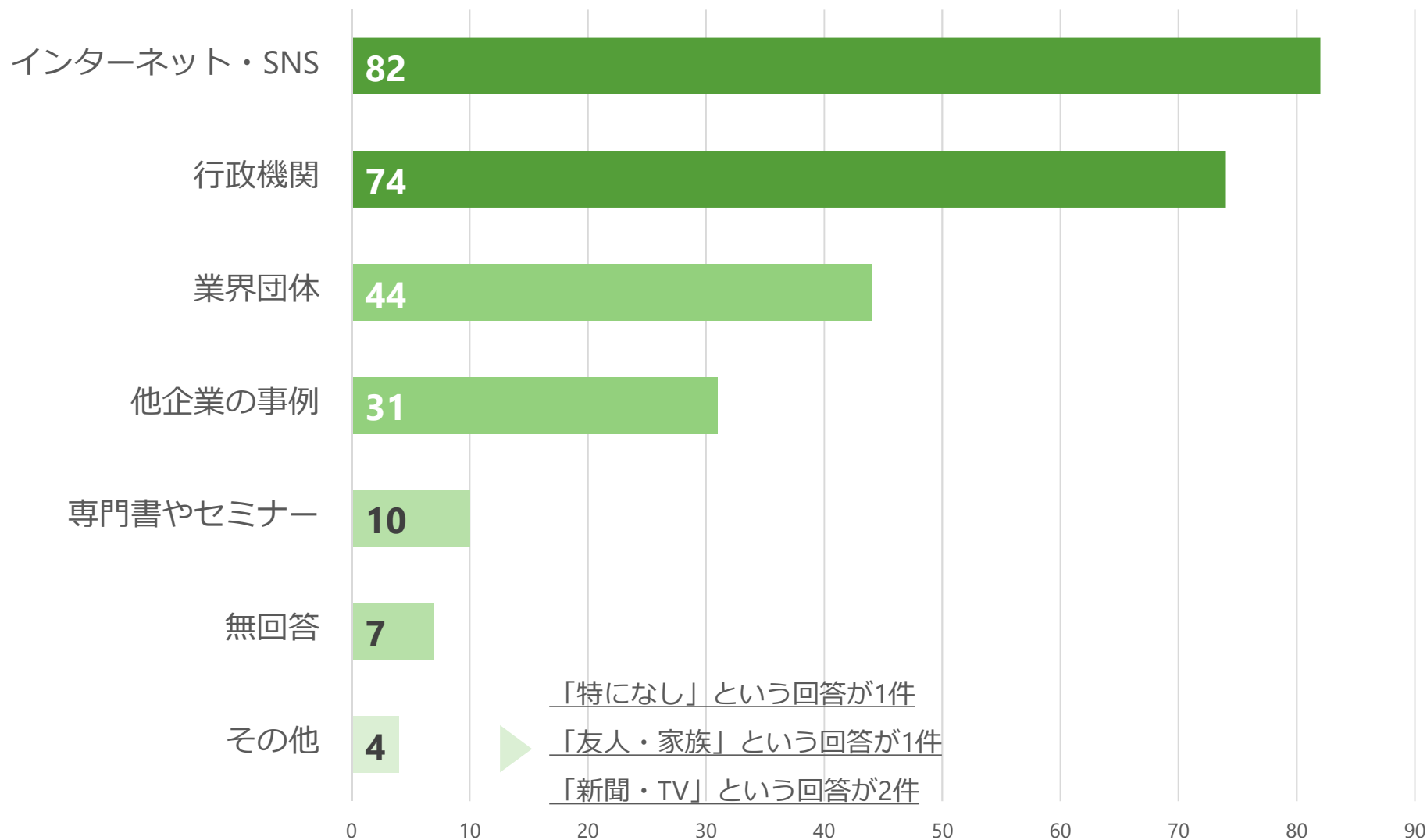
どのような支援があれば取り組みを進めやすいか（複数選択可）

質問 6



環境配慮に関する情報源（複数選択可）

質問 7



環境配慮に関する意見の自由記載欄

- ◆ 自由記載欄への回答を下記の5つの類型に分類した
具体的な記載については次ページ以降

回答の分類

- 1.補助金・コスト面に関する声（6件）
- 2.個人・事業者の取り組み（7件）
- 3.行政や社会全体への期待・提案（4件）
- 4.環境問題に対する意識・価値観（6件）
- 5.取り組み方への迷い・不安（2件）

環境配慮に関する意見の自由記載欄

◆ 補助金・コスト面に関する声（6件）

- 個人商店なので廃棄物の分別か照明かぐらいのもので、補助金・助成金の自己負担分1/3がなかなか負担に感じる
- 事業所の屋根に遮熱塗料を施したこと、また省エネ補助金を利用して最新のエアコンに入れ替えることができたのは大変大きな効果があった
- 取り組みに対してポイント付与などのメリットがあれば取り組む事業所の増加などに繋がると思う
- 当店では店内LED照明、環境に優しいエアコンを導入。結果、電気料の削減が出来ていると思われるが、導入時と比べて単価の上昇があり詳しいコスト削減となっている数字が不明である
- 低コストの為に実行する投資コストに見合わないものは辞める
- 補助金・助成金が増えないと取り組むことは難しい

環境配慮に関する意見の自由記載欄

◆ 個人・事業者の取り組み（7件）

- 現状で切削屑の分別、廃油の処理業者への引き渡し資源ごみの分別、エアコンプレッサー静音対応品等を行っています
- 当店では店内LED照明、環境に優しいエアコンを導入。結果、電気料の削減が出来ていると思われるが、導入時と比べて単価の上昇があり詳しいコスト削減となっている数字が不明である
- 小売店としては取り組めることが少ないと感じている
- 商工会さんを通して省エネエアコンを導入させていただきました。光熱費が高くなっているので助かっています
- リサイクルの取組等は30年～40年以上前からすでに行っていることであり、会社として地道に続けていることに対し、今、行政等の機関から押し付けられている感がある。
- リサイクル等は取り組みがすぐできるが、他はコスト面を考えてしまう
- ごみを資源化できればいいと思います（リサイクル業ではないのでなかなか難しい）

環境配慮に関する意見の自由記載欄

◆ 行政や社会全体への期待・提案（4件）

- 海外旅行者の急増している当環境状況を鑑み、旅行者の便宜上マナーの向上のため、ごみ（缶・瓶等）処理の場所の整備、トイレの整備等行政の取り組むべきことが山積しているように思われます。
- 環境配慮が若い世代に対してイメージが良い印象を持っている。それを活用して地域全体でまちづくりに繋がり、地域社会に対してほこりや愛着の醸成に発展すればと考えている
- 一般家庭でもいえることですが基本的なごみのリサイクル分別方法や収集場所等の分かりやすさ、実際に体験する機会があると身に付く。
- あまりピンとこないので発信していただけたら助かります

環境配慮に関する意見の自由記載欄

◆ 環境に対する意識・価値観（4件）

- 個人や自社だけでの取り組みも大切だが、新たな森林伐採などによる環境破壊を止めることも大切だと思う
- 異常気象により環境が悪化していることが良く分かります。「足りるを知る」という言葉を噛みしめて行動していきます。環境に優しい生活をする具体的方法を見つけ実行しましょう。
- 環境配慮に関する取り組みは手間が掛かるので忙しい日常では大変です。
- 環境配慮が個人の目標からビジネスへと変わっていることを本末転倒であると感じることがある。
「SDG s」の一人歩き。

◆ 取り組み方への迷い・不安（2件）

- 取り組みを始めたがどこから取り組めばよいか？どのように対応したらよいか？
- あまりピンとこないので発信していただけたら助かります



山梨県商工会連合会

* 本調査に関するお問い合わせは 山梨県商工会連合会 経営支援課
TEL055-235-2115 FAX055-235-6756